



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

気象防災マイ・タイムラインと気候変動ワークショップ

岩谷 忠幸

(いわや ただゆき)

オフィス気象キャスター株式会社 代表取締役 (気象予報士・気象防
災アドバイザー)



○ 登録者情報

所在地

東京都台東区

略歴

<略歴>

1992年 東京都立大学 理学部 地理学科卒業
1996年～2011年 フジテレビと日本テレビで、気象キャスター(国際気象フェスティバルにて「アジア賞」を受賞)。
2004年～2020年 NPO法人気象キャスターネットワーク 理事
2011年～現在 NPO法人雨読晴耕村舎 理事
2012年～現在 日本テレビ報道局 気象デスク
2012年～現在 「脱炭素チャレンジカップ」審査員(環境省・文科省後援)
2015年～2025年 文部科学省「地球観測推進委員会」委員
2019年～現在 オフィス気象キャスター株式会社 代表取締役
2024年～現在 NPO法人気象と地域防災フォーラム 理事長
2024年～ 気象防災アドバイザー(気象庁委嘱) 、流域治水アンバサダー(国土交通省委嘱)

著書・論文等

<著書・監修>

- ・「はじめてのずかん そら・てんき」(高橋書店)監修
- ・「るるぶマンガとクイズで楽しく学ぶ! 天気のみみつ」(JTBパブリッシング)監修
- ・「プロが教える気象・天気図のすべてがわかる本」(ナツメ社)監修
- ・「山岳気象入門」(山と溪谷社)著書

〇 気象防災マイ・タイムラインと気候変動ワークショップ

取組の内容

- 1) 住民向け、マイタイムライン講習会(ワークショップ)の運営及び講師
国土交通省と自治体の共催による「水害マイタイムライン」講習会にて、講師およびファシリテーターを担う。
約2時間の講座における運営及び講師を担い、住民へのハザードマップへの理解と避難行動の理解促進。
過去3年間で約30回程度の講師を担当(組織としては3年間で100回程度実施)。
- 2) 気象防災についての講演会(気象防災アドバイザー・流域治水アンバサダーとしても)
「流域治水」に関する減災対策協議会(流域の市町村長も参加)にて、気象情報の活用についての講演
市民や自治体職員、企業向けの講演会を年間10回程度実施。
- 3) 気候変動に関する講演及びワークショップ
教育機関や農業団体、企業等に向けた講演や、ワークショップを開催している。
(日本大学、労働者福祉中央協議会、鳴子中学校など)
- 4) 「脱炭素チャレンジカップ」(温暖化防止全国ネット主催 環境省・文科省後援)の審査員(11年間務める)
(気候変動に対する地域の緩和策や適応策などの取り組みを審査し表彰)
- 5) 「農ある暮らし」を提唱するNPO法人にて、気候変動緩和策の一環の農業体験活動を実践(羽生市と協力)。
- 6) 水防災の普及啓発のための動画(クイック水防災)制作(国土交通省 近畿地方整備局からの委託)。
- 7) 全国に所属の気象キャスターが45名いて、講師派遣等のコーディネートを行っている。
- 8) 神奈川県中井町にて、地域活性化につながる情報と、天気予報を組み合わせた映像提供(予定)。



マイ・タイムライン講演会の公開収録
(愛知県東海市)



気候変動に関するワークショップ
(日本大学)

実績

- 1) 住民向け、マイタイムライン講習会(ワークショップ)の運営及び講師
10回実施 受講者 400名程度
- 2) 気象防災についての講演会(気象防災アドバイザー・流域治水アンバサダーとしても)
4回実施 受講者 300名程度
- 3) 気候変動に関する講演及びワークショップ
3回実施 受講者 150名程度
- 4) 「脱炭素チャレンジカップ」(温暖化防止全国ネット主催 環境省・文科省後援)の審査員(11年間務める)
毎年1回担当 参加者 毎年500~1000人
- 5) 「農ある暮らし」を提唱するNPO法人にて、気候変動緩和策の一環の農業体験活動を実践(羽生市と協力)。
毎年8~10回実施 参加者 20人
- 6) 水防災の普及啓発のための動画(クイック水防災)制作(国土交通省 近畿地方整備局からの委託)。
12本制作
- 7) 全国に気象キャスター等の気象予報士が45名おり、その講師派遣等のコーディネートを行っている。
年間50回実施
- 8) 神奈川県中井町にて、地域情報と、天気予報を組み合わせた映像提供(予定)。
2025年4月から実施。

工夫した点や苦労した点

長年、気象キャスターを経験するなか、講演を通じて、気象防災や気候変動の普及啓発の取り組みをしてきたが、これらの課題解決のためには、高齢化の問題をはじめ、地域連携や地域活性化が欠かせないことがわかり、地域づくりの重要性を、地域住民や参加者と対話しつつお伝えしています。

ひとことPR

気象災害による「犠牲者ゼロ」を目指した防災力向上や、気候変動問題の緩和策・適応策のためには、地域住民の連携や地域活性化が欠かせません。そのため、気象防災と気候変動と、魅力ある街づくりを関連させた取り組みを行ってまいります。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	○ 地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
○ 地区防災計画	インバウンド対応
○ BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
EBPMに基づく政策立案	
その他	

関連ホームページ

オフィス気象キャスター株式会社	https://www.office-weather.jp/

連絡先

メールアドレス	iwaya [アットマーク] office-weather.jp		
---------	----------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。